

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月12日(月)

事務事業		畜産振興対策事業		担当課	農業振興課	担当係	特産係	管理番号	36341	
総合計画	大項目	3	活力とにぎわいにあふれるまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1	農業のブランドを高め伝えるまちづくり		根拠法令 個別計画等	家畜伝染病予防法・家畜排せつ物の管理の適正化及び促進に関する法律 深谷市畜産振興補助金交付要綱 深谷市豚熱及びアフリカ豚熱緊急対策事業費補助金交付要綱				
	小項目	2	農畜産物の販売流通体制の充実							
	主要プロジェクト									
事業概要		畜産疾病（牛・豚）の蔓延防止を図り、畜産経営の安定を目的として牛や豚の予防注射を実施した畜産経営者に対して、深谷市酪農振興会及び深谷市養豚組合を通じて補助金を交付する。また、豚熱及びアフリカ豚熱の感染予防対策として、飼育環境の向上を図る養豚農家に対して、補助金を交付する。								
目的 ※何のために		市内畜産農家の経営の安定のため。								
対象 ※誰・何を対象に		市内畜産農家（深谷市酪農振興会、深谷市養豚組合）								
手段 ※どのように		乳牛検診や養豚の予防注射を実施した畜産農家に対し、深谷市酪農振興会及び深谷市養豚組合を通じて補助金を交付する。								
成果 ※何を求めるか		特定家畜伝染病の蔓延防止となり、畜産経営の安定化を図る。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NP0等 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額（円）		
		一般会計	6	農林水産業費	1	農業費	4	畜産業費	畜産振興対策事業	5,406,030
本事業の 主な業務		・ 深谷市養豚組合へ予防注射の補助金交付					・			
		・ 深谷市酪農振興会へ乳牛法定検診の補助金交付					・			
		・ 畜産クラスター協議会に係る業務					・			
		・ 特定家畜伝染病対策に係る業務					・			
		・ 畜産振興に係る業務					・			
		・					・			

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画		乳牛検診（岡部地区）・ 養豚予防注射	・ 乳牛検診（川本地区） ・ 養豚予防注射 ・ 鳥インフルエンザ防疫 強化対策支援	・ 乳牛検診（深谷・花園 地区） ・ 養豚予防注射	・ 乳牛検診（臨時） ・ 養豚予防注射		
事業費	予算（現額）	2,120,000	7,453,000	1,124,000	462,000		
	決算額	1,183,887	5,406,030	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0		
	一般財源	1,183,887	5,406,030	1,124,000	462,000		
人件費	従事職員数（人）	0.92	0.92	0.92	0.92		
	人件費相当試算※	7,140,962	7,239,992	7,540,676	7,540,676		
総事業費試算		8,324,849	12,646,022	8,664,676	8,002,676		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	酪農家・養豚農家数		目標値	戸						
			実績値		46.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		年度により農家数が変わるため、目標値は設定しない/定期報告による							
	実績値の算出式									
活動指標 2	予防接種に係る補助金交付額		目標値	千円						
			実績値		371.04					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		年度により予防接種頭数が変わるため、目標値は設定しない							
	実績値の算出式									
成果指標 1	乳牛検診・養豚予防接種頭数		目標値	頭						
			実績値		8,564.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		年度により予防接種頭数が変わるため、目標値は設定しない / 補助事業実績報告書による							
	実績値の算出式									
成果指標 2	乳牛検診・養豚予防接種実施率		目標値	%						
			実績値		100.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		年度により接種頭数が変わるため、目標値は設定しない / 補助事業実績報告書による							
	実績値の算出式									
成果指標 3	乳牛・豚の伝染病が蔓延した件数		目標値	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績値		0.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		病気が発生しないことを目標とするため、0とした。							
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	深谷市畜産振興補助金交付要綱に基づき、深谷市酪農振興会及び深谷市養豚組合に牛や豚の予防接種に係る経費の一部を補助金として交付した。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	予防接種対象の牛や豚の予防接種を計画通りに実施したことで、牛や豚に係る特定家畜伝染病の発生はなかった。
			評価者 特産係長 荒木 守

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	埼玉県や獣医師、深谷市酪農振興会及び深谷市養豚組合との連携を図ることで、乳牛検診や養豚の予防接種を計画的かつ効率的に実施することができた他、疾病防止に係る注意喚起を広く周知することができ、特定家畜伝染病の発生を未然に防ぐことができた。
			評価者 特産係長 荒木 守

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	畜産振興対策事業	担当課	農業振興課	担当係	特産係	管理番号	36341
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		特定家畜伝染病の発生防止は、畜産経営の安定を図るためにも必要不可欠である。そのためには、日頃から飼養衛生管理基準の遵守等の注意喚起を行うとともに、埼玉県や獣医師、畜産関係団体と連携を図りながら、乳牛検診や養豚への予防注射を計画通りに実施・継続していくことが必要である。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	農業振興課長 前野 武一				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

